



梅沢 政隆
リポーター



大久保勝男
リポーター



大石 純夫
リポーター

地域の駅に感謝を込めて

宇部中学校環境美化奉仕作業 5月29日



地域住民と一緒にホームを清掃する生徒ら

宇部中学校の生徒30人が、地域住民と三陸鉄道陸中宇部駅を清掃しました。同校が20年以上続けている活動で、たわしや雑巾を使い、ホームや手すり、階段などを清掃。3年の宇部陽斗さんは「自分も三陸鉄道を利用するので、感謝の気持ちを込めて清掃しました」と汗を拭きました。

看護への理解を深める

ふれあい看護体験 5月28日・29日



入院患者の手を洗う体験をした生徒

県立久慈病院が看護の日に合わせて看護体験を開催。久慈や洋野町の中高生約40人が看護師の仕事や入院患者とのふれあいを体験しました。久慈高等学校3年の藤原憧一郎さんは「自分では当たり前に行っていることを手伝う難しさが体験できました」と充実した表情を見せました。

通学路を花で彩る

門前老人クラブ花植え 5月11日



色とりどりの花を植えるクラブ会員

門前老人クラブの約15人が、久慈夏井線沿いの花壇へ花植えを行いました。花苗は久慈翔北高等学校から贈られたもので、同校の通学路でもある歩道沿いへ植えられました。西政弘会長は「毎年草取りを行っていますが、今年は花を植えられて良かったです」と目を細めました。

五穀豊穰を願う

無形民俗文化財「枝成沢虫まつり」 6月1日



雨天のため、体育館で行われた虫まつり

虫まつりが中央市民センター枝成沢分館で開催され、約60人が参加しました。参加者は、わら人形を担ぎながら歩き、五穀豊穰や無病息災を祈願。久慈翔北高等学校1年の山居雄大さんは「地域の伝統行事として、保育園の頃から毎年楽しみに参加しています」と語りました。

地域の魅力をさらに発信

道の駅いわて北三陸来館者200万人達成 6月8日



市長から記念品を受け取る小野寺友さん親子

道の駅いわて北三陸が、来館者200万人を達成しました。節目の来館者となったのは、八戸市から訪れた小野寺亜希さんと友さん親子。「三陸沿岸道路ができてから来やすくなり、公園があるのでよく遊びに来ます。200万人目になり驚きました」と笑顔を見せていました。

協力してコスモス園を整備

コスモス園環境整備 6月7日



暑い中、子供たちも参加して作業しました

夏井川堤の景観を創る会が、夏井町のコスモス園の環境整備を開催。約20人が園内の草刈りやコスモスの種まき、ゴミ拾いを行いました。10月には見事な花が咲く中で、地域住民が芸能発表や農産物・手作り作品の販売を行うコスモス園まつりが開催される予定です。(梅沢)



1/間近で見学できる朝稽古 2/力士と記念撮影 3/久慈警察署が二十山親方を安心・安全アンバサダーに任命。来場者へ防犯を呼びかけました 4/白銀のひかりを手に笑顔の栃大海関 5/力士に挑むくじあさひ認定こども園の園児

高校生が投票を呼びかけ

選挙の投票啓発放送録音 6月18日・19日



防災行政無線の録音を行う久慈翔北高等学校の生徒

市選挙管理委員会が、7月の参議院議員通常選挙の投票を促す放送の録音を行いました。市内の高校生8人が音声を担当。久慈翔北高等学校3年の林下一斗さんは「1票で変わることがあると思うので、少しでも投票に参加する人が増えてほしいです」と声に力を込めました。

ナニヤドヤラ太鼓を楽しく学ぶ

盆踊り太鼓教室(全4回) 5月30日



ナニヤドヤラの音頭に合わせ太鼓を練習

小久慈市民センターで太鼓教室が行われ、12人が盆踊りの太鼓を学びました。参加者は、講師の中塚由美子さんの指導で太鼓の打ち方を練習。踊りながらの練習では、始めは戸惑いながらも次第に上達を見せ、夏の盆踊り大会での披露に向けて、意気込んでいました。(大久保)

まちのわだい

春日野部屋夏合宿で地域に活気

大相撲春日野部屋夏合宿 6月13日～18日

大相撲春日野部屋が12回目となる久慈市での夏合宿を行い、5月場所で新入幕を果たした栃大海関ら約20人が、宇部煎餅店相撲場で稽古に励みました。朝稽古は無料公開され、連日相撲ファンが足を運びました。力士らは稽古の合間に、学校や福祉施設などを訪問。地域住民と交流を深めました。13日には、いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会と岩手県白銀のひかり栽培研究会が、来場所での活躍を期待し春日野部屋に「白銀のひかり」100㍑を贈呈。二十山親方は「地域の皆さんに応援してもらい、まちも力士もお互いに活気が出ていると感じています。久慈の美味しいものを食べて稽古に励み、名古屋場所に向けて力をつけていきます」と意気込みました。

世界に誇る短角牛を堪能

山形村短角牛BQ&ベアレンビールフェス 6月15日



ビールとともに炭火で焼いた短角牛を堪能する来場者

山形村短角牛とベアレンビールを一度に味わえるイベントが中町イベント広場で開催され、約500人が来場。世界に誇る肉とクラフトビールに酔いしれました。会場ではKUJI街なか音楽祭も同時開催。バンド演奏やダンスが披露され、来場者は食と音楽を満喫しました。

功績と愛を語り継ぐ

名誉市民タマシン・アレン先生の愛を語る会 6月7日



アレンさんの墓前で黙とうを捧げる参加者

タマシン・アレンさんの命日に合わせ、有志約20人が功績や思い出を語りました。牧師の矢幅牧さんは「アレンさんは、久慈の文化や人を心から大切にされた人。生活の向上だけでなく、精神的にも豊かにしてくれた存在として、多くの人に知ってほしいです」と心境を語りました。